

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ (P) (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3485
2. 授業担当教員	森田 和美		
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>精神保健福祉援助実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは2年時～3年時にかけて、連続して、かつ各実習と並行して、実習事前の準備、実習中の指導、及び実習事後学習を行うようになっている。</p> <p>精神保健福祉援助実習指導Ⅲは、精神保健福祉援助実習第一段階の帰校指導の役割も兼ね、実習の振り返りを行い、実習における学びを深める。また、精神保健福祉援助実習第Ⅱに向けての準備、事後学習も行う、終了した時点で次のことを達成していることが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習計画の作成を通じて実習の目的を明確化、具体化できる。 2) 事前訪問を実施し、実習生、授業担当教員、実習指導者（スーパーバイザー）との協議を踏まえた実習計画を完成させる。 3) 相談援助技術について理解を深め、実習における専門技術習得のための具体的方法について理解する。 4) 記録の意義について理解のうえ、適切な記録の記入ができる。 5) 実習中に行う事例について検討し、支援計画の立案を実践的に理解する 6) 実習中の利用者との関わりを振り返り、自己覚知を深める 7) 実習目標と実践を照合し自己評価して、自己の課題を明瞭に説明できる。 8) 実習を総合的に評価し、課題を明確化、文書化できる。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 ② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。 ④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤ 具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習先医療機関の概要を調べレポートにまとめる (2000字～4000字) 2. 実習先医療機関の概要、実習プログラム案の作成 3. 医療機関実習振り返り、実習総括レポート (実習報告書) の作成 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『精神保健福祉士養成セミナー 第8巻 第6版 精神保健福祉援助実習指導・現場実習』へるす出版、2017。 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 実習の手引き』※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 学習の手引き』※講義にて配布</p> <p>【参考書】 精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2019年版』 中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2種の実習の振り返りから学びと課題を整理、言語化できる。 2. 実習に際して必要な提出物 (帰校指導記録その他) を期限を守り提出できる。 3. 実習に向けての準備を行える。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業時の提出物 20% 2. レポート (実習総括レポート) 50% 3. 授業への積極的参加態度 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	この授業では、実習と連動して精神保健福祉士としての実践力の向上に焦点を置いて授業を進める。学生の積極的な授業参加を期待する。		
13. オフィスアワー	別途、連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・精神保健福祉援助実習指導Ⅱの振り返りと確認 ・本講義内容、進め方の説明	事前学習	実習テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	施設実習の評価、実習記録のコメント欄を見返し、考察をまとめる
第2回	・施設実習の振り返り : 担当した事例についての報告と意見交換 : 実習評価に対する考察を行う : セルフアセスメントを実施して自己の成長を振り返る ・医療機関実習に向けての準備 : 実習の抱負を言語化する	事前学習	施設実習の振り返りを行い、医療機関実習における課題を確認する
		事後学習	個人調書の下書き作成
第3回	・実習生個人調書作成 ・実習施設の概要、プログラム案作成 : 収集した情報に基づき概要の作成方法を確認する : 自己の課題を認識したうえで実習において学びたいことを確認する	事前学習	実習の手引きを参考に医療機関実習で学ぶべき事柄を確認しておく 配属先医療機関の情報収集を行う
		事後学習	施設概要、プログラム案の下書きを作成する

第4回	・医療機関におけるPSWの役割を学ぶ ：施設実習において医療機関PSWと連携した事例を振り返る ：医療機関におけるPSWの役割を確認する	事前学習	施設実習や今までの学習を振りかえり医療機関におけるPSWの役割をまとめる
		事後学習	授業で新たに学んだことをまとめる
第5回	・医療機関実習に向けての準備 ：施設概要、プログラム案を完成させ教員より確認印をもらう ：レポートのピアレビューを行い、追記すべき事項を確認する	事前学習	施設概要、プログラム案の下書きを完成させる 医療機関概要レポートを完成させ、授業時に持参する
		事後学習	施設概要、プログラム案を清書する。必要に応じて修正をする。
第6回	・事前訪問に向けた準備 ：事前訪問の目的と意義の再確認 ：基本的態度と訪問時の注意事項の再確認 ：スーパーバイザーと協議したい点を明確にする	事前学習	実習の手引き、事前訪問の項目を確認する
		事後学習	スーパーバイザーと協議したい点を明文化しておく
第7回	・事前訪問の総括 ：実習プログラム案に関するスーパーバイザーとの協議事項の確認とそれを踏まえての実習プログラム案の作成 ・巡回担当教員への挨拶に備える	事前学習	事前訪問報告書の作成 お礼状の郵送
		事後学習	実習プログラム案を必要に応じて修正する 巡回担当教員挨拶用紙の作成
第8回	・医療機関実習に向けて必要な知識の確認 ：入院制度 ：診療報酬 ：チームアプローチ など	事前学習	必要な知識の復習をする
		事後学習	学んだことをまとめる
第9回	・医療機関実習に向けて必要な知識の確認 ：それぞれの配属先の特徴に応じて必要な知識を確認する、認知症、依存症、救急病棟 など	事前学習	配属先医療機関の特徴を再確認し、必要な知識を書きだす
		事後学習	授業で学んだことをまとめる さらに必要な知識を調べ、まとめる
第10回	・自己評価表の理解 ：自己評価を行う意義と活用方法の確認 ：自己評価表の記入方法の確認	事前学習	実習記録の自己評価表に目を通す
		事後学習	実習後に行うべき事柄を書きだす
第11回	・医療機関実習に向けての最終確認 ：事故、緊急時対応、保険、注意事項、評価、記録の提出等について ・帰校指導日の確認 ・実習における契約構造の説明と実習生の義務、権利について確認	事前学習	医療機関実習までに確認した事柄を書きだす
		事後学習	テキスト、実習の手引き、学習ノートを振り返り、実習に備える 実習記録への記名等実習に向けての最終的な準備を行う
第12回	・医療機関実習を振り返る ：医療機関実習で学んだことをグループディスカッションにより振り返る ・セルフアセスメントシートの作成 ：3回のシートを振り返り自己の成長と課題を認識する	事前学習	医療機関実習での学びを振り返る
		事後学習	ディスカッションによる新たな気づきをまとめる
第13回	・医療機関実習を振り返る ：実習成果発表会①	事前学習	自己の実習を振り返る 実習総括レポートの作成、発表の準備をしておく。
		事後学習	事後学習を通して、再度自己の実習を振り返り実習での学びをまとめる
第14回	・医療機関実習を振り返る ：実習成果発表会②	事前学習	自己の実習を振り返る 実習総括レポートの作成、発表の準備をしておく。
		事後学習	事後学習を通して、再度自己の実習を振り返り実習での学びをまとめる
15回	・医療機関実習を振り返る ：実習成果発表会③ ・まとめ ：施設実習、医療機関実習を通しての自己の成長と課題を認識する	事前学習	自己の実習を振り返る 実習総括レポートの完成
		事後学習	実習を通しての自己の成長と課題をまとめる

備考：実習に関する主な事項と授業回数との関連

実習関連／実習コンピテンス関連事項	時期	授業回数との関連*おおよその目安、変動あり。
医療機関実習配属発表	4月初旬	第1回～第2回あたりに発表*個人調書の作成
「実習施設・機関の調査」レポート提出	4月	第2回～第3回あたり
巡回担当教員発表・挨拶	5月下旬	第6回～第7回あたりに発表 学生各自挨拶に行く
見学実習（事前訪問）実施	6月初旬	学外授業期間を利用、学生各自日程調整して実施
セルフアセスメントの実施③	7月中旬	医療機関実習開始前に実施する
医療機関実習	7月～8月	夏季休講期間に12日間以上かつ90時間以上
セルフアセスメントの実施④	実習終了後	実習終了後各自実施し実習記録に閉じて提出する